

成人向  
同人誌

少女リーディアに  
魔の手がせまる！







とどろかず先に進む

→ ○ 2 ○ ◡



急いで引き返す

→ ○ 4 ○ ◡



かくしつかる発見！  
中に入ってみる

→ ○ 7 ○ ◡



ギの場で助けを待つ

→ ○ 11 ○ ◡

暗いダンジョンの中…  
ひとりの女の子が  
途方にくれていました。



セシル…!!

とほ

とほ…

女の子の名前はリディア。  
どうやら旅の仲間と  
はぐれてしまったようです。  
魔力も尽きた今、  
もしモンスターに襲われたら…

『うう…こわいよお…  
わたし、ここから  
どうすればいいの…』



「(っ)っ(っ)っ...どうしたの  
お嬢ちゃん? 様子?」  
「リディアは霊悪く  
盗賊の集団に  
出会ってしまいました。  
」  
「...となど...うにいたら危ない、  
俺達がおきて、  
連れてってあげよう...  
でも、そのまえに...ヒロミ」

「盗賊たちは怯えるリディアを  
歌人がかりで押さえつけてます。  
やして...」

「さー、お嬢ちゃん?  
今から君の身体  
味見するからやー...  
やらっ!」  
「お...おあーっ!」



「い...い...い...い...い...」  
「おお縛まる縛まる  
それにい...い...い...い...い...  
き...と高く売れるぞコイツ、  
ヒロミ...」

人買いから受け取る  
金貨の枚数を想像し、  
ほくそ笑みながら  
リディアの「味見」を  
続ける盗賊たち。  
彼らの愚挙を止めるものは  
誰もいません...



「ふう...良かったよお嬢ちゃん  
...それにや、約束どおり  
おきてにつれてってあげよう  
...と...と...と...  
君が今までのいたのは違っ  
「ヤカイに...だけや...」

数日後...  
とある町の片隅、  
おやしげな館の中に  
リディアの姿が  
おりました。

おでん  
あ  
おでん

「お？新人さんか？  
うーん...ちっちゃくて  
可愛いなよ...」  
「おやおち  
まだ〇セコなままだ...  
じよる...」

「( ) ( ) ( )  
「このお店が...  
「リディアちゃんか...」

「はい...おませた今日は  
いっほいお金ほら...  
おれがどうせ...」  
「おれは...おれは...  
今日、おれは...  
おれは...おれは...  
おれは...おれは...」



娼館に売り飛ばされて  
しまったリディア...  
待っていたのは  
ロリコン専用娼場として  
変態中年たちの慰み者に  
される日々でした...

げんやん!!リディアのたびはまさでおわってしまった!!





「……」  
モンスターは  
巨大な肉茎で  
少女の体を  
一気に貫きました。



巨大な異物が  
未成熟な腔を限界まで押し上げる  
その苦痛に悲鳴を上げるリディア。  
やんなりディアを押しさえつけ、  
さらに深い結合を求め、膣を迫めるモンスター。  
そして、欲望のままに挿挿を始めます。

幼い股を蹂躪する感触に酔いしれ  
夢中で脚を振るモンスター。  
その欲望がリディアの中陰界を迎える。

ほあ  
あああ  
あああ

あああ  
あああ

とろろ

性欲を満たし、満足キウなモンスター。  
ですが…どうやらリディアを手放す気は無いようです。  
『グフフフ…コイツ、おでノモノ…おでノ…オンナ…グフッ』  
リディアはモンスターに抱えられ、彼の住処に連れて行かれてしまいました。  
これから毎日、おのモンスターに幼いカラダを犯され続けるのでしょ…

とろろ

とろろ

とろろ

とろろ

とろろ

げんねん!!リディアのたびはここでおわってしまった!!









あ  
あ  
あ

あ

あ

数十分に及ぶ執事を受撫で  
すっかりほぐされてしまった  
幼い二穴：  
福業でとろけた  
お〇んことアナルは  
たやすく触手の  
侵入を許してしまいます。

「あ、あ……あ……  
やあ、アナル……  
リディアのなか  
出たり入ったり  
するのさあ……  
キミを風……  
さしたら……  
リディア、  
リディア……  
おかしく  
なっちゃうっ！」



あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ



あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ



…やがて射精を始める触手達。  
粘液の数倍の催淫効果を持つ  
触手の精液…その催淫精液が  
リディアの中にどくどくと  
注ぎ込まれていきます…

これは最後の仕上げでした。  
無垢な少女を性処理ペットに  
つくり変えるための…







「おーい、リディアー！  
ちゃんといるかー！」

自分の名を呼ぶ機がしいす。  
仲間が、来てくれたのだ。

『お……ヤジッ……』

泣きながら仲間飛びつくリディア。

『うう……怖かった……怖かったよお……』

「よかった、無事で……」

「ヤ、こんな危ないところ早く出よう」

『う……』





— 奥付 —

発行 : 電磁誘導  
著者 : 村田電磁  
発行日 : 2009/8/16  
連絡先 : denjiken@mail.goo.ne.jp  
HP : <http://denji.h.fcl.com>  
印刷 : おかつき印刷さま

2009 電磁誘導